

報徳訓

(読み下し文)

父母の根元は天地の命令に在り

身体の根元は父母の生育に在り

子孫の相続は夫婦の丹精に在り

父母の富貴は祖先の勤功に在り

吾身の富貴は父母の積善に在り

子孫の富貴は自己の勤勞に在り

身命の長養は衣食住の三つに在り

衣食住の三つは田畑山林に在り

田畑山林は人民の勤耕に在り

今年の衣食は昨年の産業に在り

来年の衣食は今年の艱難に在り

年年歳歳報徳を忘るべからず

『報徳訓』を現代のこじばに直すよ

お父さん・お母さんがなぜいるのかというと、それぞれにおじいさん・おばあさんがいたからです。おじいさん・おばあさんには、そのまたお父さん・お母さんがいました。ずーっとさかのぼっていくと天地の命ずるところに行き着きます。

自分が今こうしていられるのは、お父さんとお母さんが大切に育ててくれたからです。また、自分の子どもや孫が心豊かに生きていくためには、そのお父さん・お母さんの愛情と努力が必要です。

お父さん・お母さんの豊かな生活は、祖先の働きと努力があつたからです。自分の豊かな生活は、お父さん・お母さんが良い行いを積み重ねてくれたお陰です。自分の子どもたちが豊かな生活を送るためには、今の自分がまじめに学び働くことです。

ところで、元気で長生きするには衣・食・住の三つが大事です。衣・食・住という人間の生活の元になるのは、自然の恵みを生み出してくれる田畑や山林です。その田畑や山林も人々の働きがなければ恵みを生み出しません。今年の衣と食は昨年一生懸命に働いたお陰です。来年の衣や食は今年の苦労や頑張りにかかっています。いろいろなものの良さを引き出す努力（報徳）をいつまでも忘れないことが大切です。

『二宮金次郎・富田高慶からの贈り物』

（旧原町市／平成16年9月30日発行）P 39引用